

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
平成11年11月1日 第31報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	220		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	300		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus alpinus</i>	10		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	180		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	240		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	39		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	9		
(他) <i>Tetraselmis sp.</i>	10		
(藍) 藍藻綱	220	20.6	45.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	350	32.7	25.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	39.3	14.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	69	6.5	14.9
(他) その他のプランクトン	10	0.9	0.1
総 細胞 数	1069	総体積	2.3E+06
種 類 数	14	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

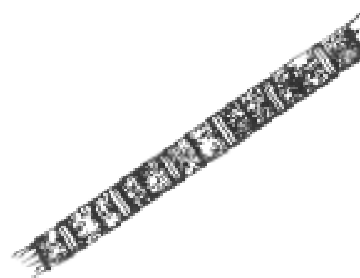
## 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Tintinnopsis cratera</i>	260

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Epistylis sp.</i>	240

\*個体数については、プランクトンネット(300 $\mu\text{m}$ )で採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



***Melosira granulata***  
(メロシラ)  
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

### 動物プランクトン第1優占種



***Tintinnopsis cratera***  
(スナカラムシ)  
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は、砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

### コメント:

植物プランクトンは細胞数では珪藻のメロシラ グラヌラ - タが最も多かった。しかし、細胞体積では藍藻のアファニゾメノンが優占種となった。なお、本種が第2優占種となったのは、初めてである。

動物プランクトンで第2優占種となったエピスティリスはツリガネムシと同じグループに属する種で、分枝した枝の先に虫がついており、この枝は収縮をしないという特徴がある。